



University of the Ryukyus Library Bulletin Vol.29 No.1 (No.109) Jan. 1996

## CD-ROM資料に関するアンケートの調査結果について

平成7年6月19日から7月10日の間に行ったCD-ROM資料に関するアンケートの調査結果について報告する。この調査は今回は教官のみを対象とした。

情報サービス課

1. 所属は次のどれに該当しますか。

- a. 法文学部    b. 教育学部    c. 理学部
- d. 医学部      e. 農学部      f. 工学部
- g. 教養部      h. その他

【表1】学部別回答者数

	配布数	回答者数	回答率
法文学部	104	17	16.3%
教育学部	105	12	11.4%
理学部	71	27	38.0%
医学部	278	88	31.7%
農学部	74	14	18.9%
工学部	94	21	22.3%
教養部	70	11	15.7%
その他	13	3	23.1%
計	809	193	23.9%

表1に学部別回答者数および回答率を示す。なお、その他は学部に属さない研究施設等である。

回答者の数では、医学部、理学部、工学部の順となっているが、回答率では理学部がトップとなっている。

### 目次

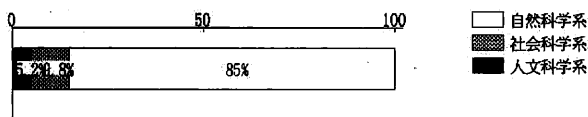
図書館のアンケート調査について	1	本学教官著作寄贈図書案内	14
Dr.Shoyei Yamauchiからの寄贈図書	8	沖縄関係資料新着案内	15
学術雑誌の1996年度新規・中止	10	図書館事情	18
お知らせ	13	医学部分館だより	18
本学紀要類の紹介シリーズ-1	14		

2. 学問領域、専門分野は次のどれに該当しますか。

- a. 人文科学系    b. 社会科学系
- c. 自然科学系

回答者数の内訳は人文科学系 10、社会科学系19、自然科学系 164で、その比率はグラフ 1 に示すとおりで、自然科学系教官が 85%と圧倒的に多い。

グラフ 1 学問領域別回答者比

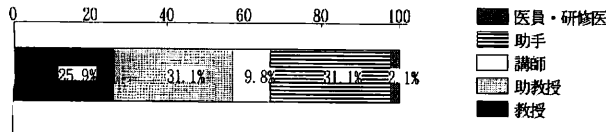


3. 職名は次のどれに該当しますか。

- a. 教授    b. 助教授    c. 講師
- d. 助手    e. 医員・研修医

回答者数の内訳は、教授 50、助教授 60、講師 19、助手 60、医員・研修医 4で、その比率はグラフ 2 に示すとおりとなっている。回答者は助教授と助手が同数でトップを占めている。

グラフ 2 職名別回答者比

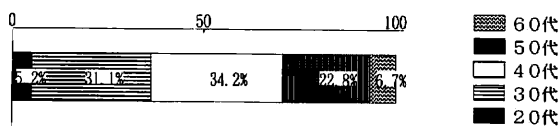


4. 年齢は次のどれに該当しますか。

- a. 20代    b. 30代    c. 40代
- d. 50代    e. 60代

回答者数の内訳は、20代 10、30代 60、40代 66、50代 44、60代 13 で、その比率はグラフ 3 に示すとおりである。40代が最も多く、30代、50代がその後に続く。

グラフ 3 年齢別回答者比



5. オンライン情報検索サービスの利用について

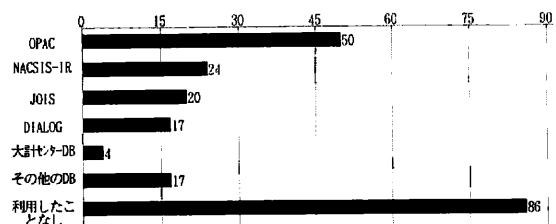
オンライン情報検索サービスには以下のようなものがありますが、あなたはどのようなデータベースを利用されていますか。該当するものに○を付け、( )内にはできるだけ詳しくご記入下さい。(a.は附属図書館、b.は学術情報センター、c.及びd.は民間デリバリー機関、e.は大学共同利用機関が提供し、a.以外は有料)

- a. OPAC (オンライン目録)
  - b. NACSIS-IR ( )
  - c. JOIS ( )
  - d. DIALOG ( )
  - e. ( ) 大学大型計算機センター提供データベース ( )
- 例えば、東京大学大型計算機センターの C A (Chemical abstracts) など
- f. その他のデータベース (具体的な名称等わかればご記入下さい)
  - ( )
  - g. 利用したことはない

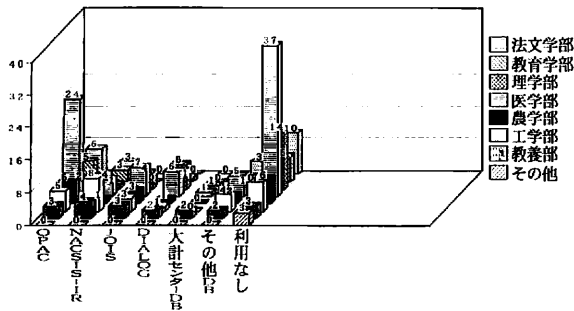
それぞれについての回答者数はグラフ 4 に示すとおりである。また、学部別についてはグラフ 5、学問領域別についてはグラフ 6、職名別についてはグラフ 7、年齢別についてはグラフ 8 に示すようになっている。

オンライン情報検索サービスの利用では、OPAC、NACSIS-IR、JOIS、DIALOGが上位を占めているが、OPACを除くと他の3つの情報検索サービスの利用はそれほど大きな差は見られない。

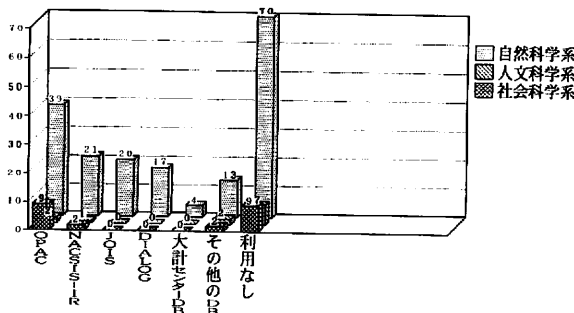
グラフ 4 利用したことのある情報検索サービス



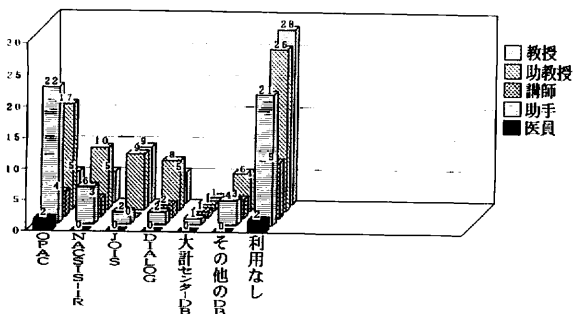
グラフ5 オンライン情報検索サービスの利用  
(学部別)



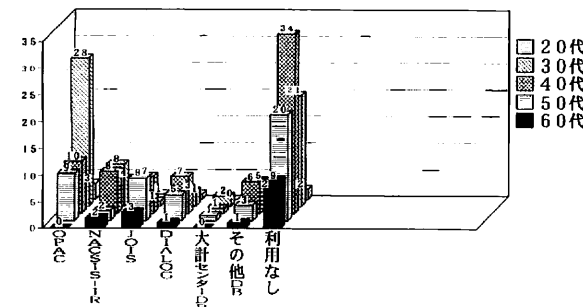
グラフ6 オンライン情報検索サービスの利用  
(学系別)



グラフ7 オンライン情報検索サービスの利用  
(職名別)



グラフ8 オンライン情報検索サービスの利用  
(年齢別)



グラフ5～グラフ8から見られる傾向は、自然科学系以外の教官はOPACを除く情報検索サービスはほとんど利用していないこと、職名別では助教授層が情報検索サービスをよく利用していること、年齢層別では40代が各種のオンライン情報検索サービスを平均的によく利用していること、学部別では、OPACの利用は医学部、NACSIS-IRの利用は工学部、JOISの利用は医学部、DIALOGの利用は理学部、医学部がそれぞれ1位を占めていることなどである。

また、自由記入欄についての回答は以下のとおりである。

c. JOISの利用

SSCI Search, A&H Search, COMPENDEX PLUS, EM base, SCI Search, JB&T, FBCAT, RES, Medline

d. DIALOGの利用

CA 3件, BIOSIS, 地球科学

e. 大型計算機センター提供データベースの利用

東京大学大型計算機センター CA (Chemical abstracts) 1件

九州大学大型計算機センター INSPEC 2件

f. その他のデータベースの利用

木簡のデータベース, UTOPIA (筑波大学データベース), JICST, INSPEC, 九大 INSPEC, AIR, Medline/W ENTRE, Neutre2 (国立がんセンター), BIOSIS (NIFTY経由), agricola, IPCSR, ERIC, AMI, SocioFile, LEX/DB

6. 冊子体抄録誌の利用について

中央館には以下の著名な抄録誌がありますが、利用されたことがありますか。

(利用されているものに○を付け、利用頻度をご記入下さい)

a. 化学文献抄録誌 CA (Chemical abstracts)

(日・週・月・年)に( )回

b. 生物科学文献抄録誌

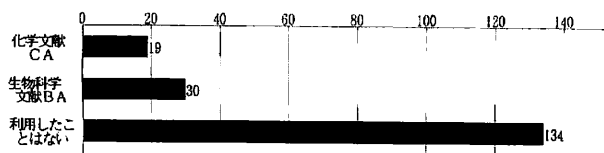
BA (Biological Abstracts)

(日・週・月・年)に( )回

c. 利用したことはない

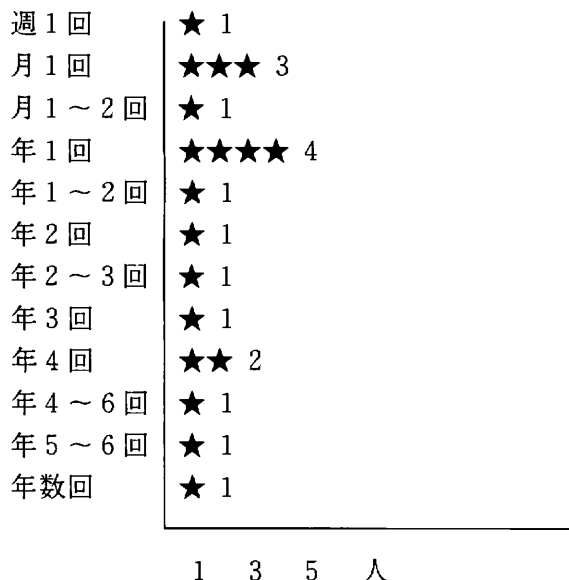
それぞれの回答者数の内訳は、グラフ9に示すとおりとなっている。

グラフ9 利用したことのある抄録誌



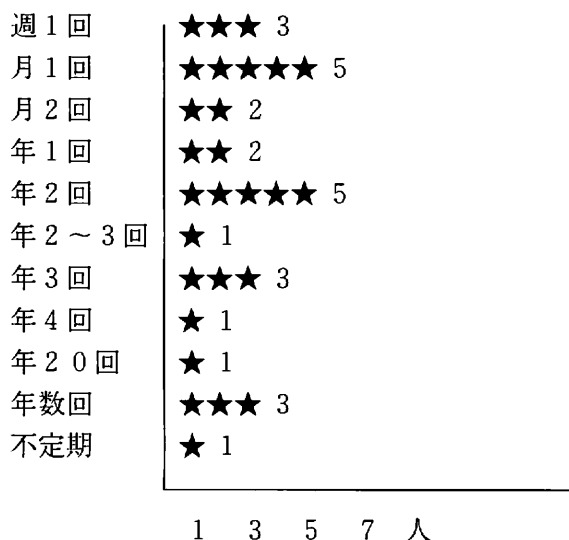
また、各抄録誌の利用回数の頻度に占める人数は以下のとおりである。

a. 化学文献抄録誌 CA (Chemical abstracts)



b. 生物科学文献抄録誌

BA (Biological Abstracts)



CA、BAとも自然科学系以外の利用者は各1人で、残りはすべて自然科学系である。

CAは、理学部(9人)、医学部(6人)の順で利用が多く、BAは医学部(11人)、理学部(8人)、

農学部(7人)の順で利用が多い。

7. 附属図書館にあるCD-ROMの利用について

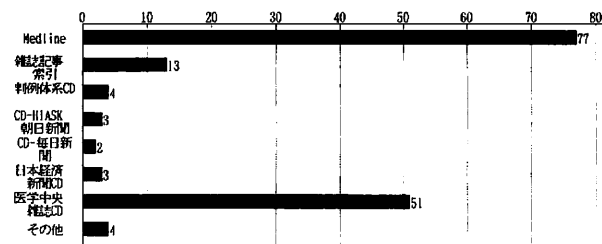
附属図書館には以下のCD-ROMがありますが、利用されたことがありますか。

(利用されているものに○を付け、利用頻度をご記入下さい)

- a. Medline CD-ROM (日・週・月・年)に( )回
- b. 雑誌記事索引CD-ROM (日・週・月・年)に( )回
- c. 判例体系CD-ROM (日・週・月・年)に( )回
- d. CD-HIASK (朝日新聞) (日・週・月・年)に( )回
- e. CD-毎日新聞 (日・週・月・年)に( )回
- f. 日本経済新聞CD-ROM (日・週・月・年)に( )回
- g. 医学中央雑誌CD-ROM (日・週・月・年)に( )回
- h. その他(具体名称をご記入下さい: ) (日・週・月・年)に( )回

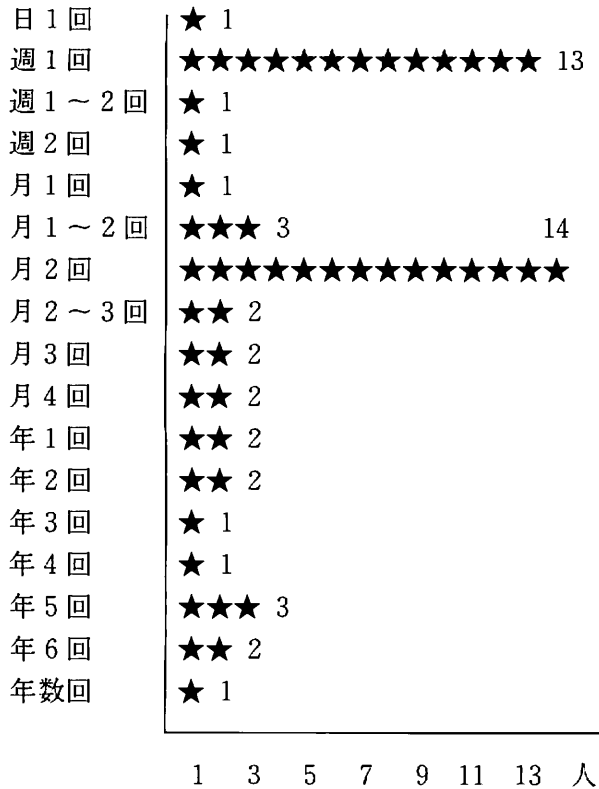
それぞれのCD-ROMの利用状況はグラフ10に示すとおりである。これで見るとMedlineと医学中央雑誌の利用が圧倒的に多いことがわかる。Medlineは92%以上、医学中央雑誌は98%以上が医学部での利用である。その他のCD-ROMの各学部での利用は1～5人の間に留まっている。

グラフ10 CD-ROMの利用状況

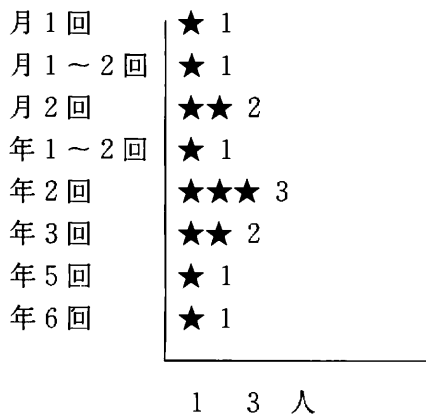


また、各CD-ROM毎の利用回数の頻度に占める人数は以下のとおりとなっている。

a. Medline CD-ROM



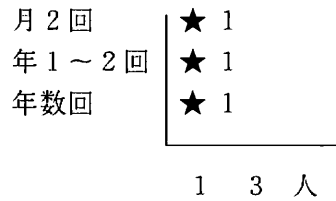
b. 雑誌記事索引CD-ROM



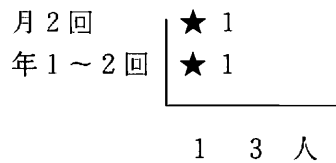
c. 判例体系CD-ROM



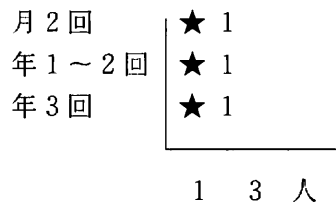
d. CD-H I A S K (朝日新聞)



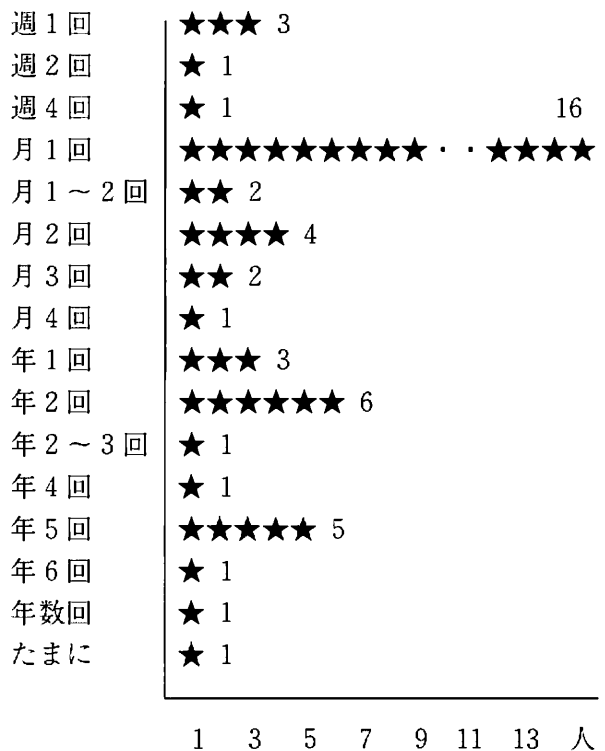
e. CD-毎日新聞



f. 日本経済新聞CD-ROM



g. 医学中央雑誌CD-ROM



また、その他のCD-ROMを利用している場合の具体名称の記入欄には以下の回答があった。

・どこにあるのですか？すぐにわかれば利用し

たい。

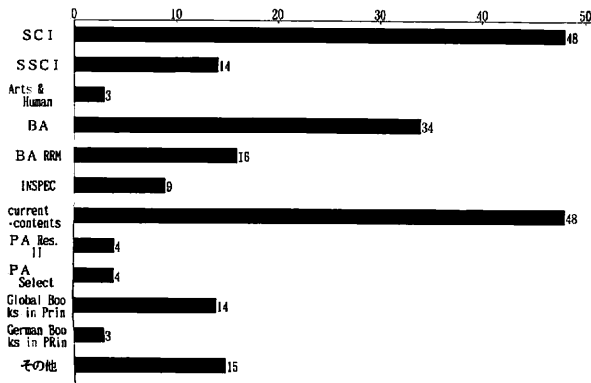
- ・利用したことはない。 2人
- ・このようなCD-ROMが図書館にあるとは知らなかった。PRが足りないのでしょうか。また、学内LANを通して利用できるような方法を早期に導入してほしい。

8. 今後導入してほしいCD-ROMについて 附属図書館が現在所蔵していないCD-ROMで著名なものを以下に上げますが、希望に添うものが有りましたら、○を付けて下さい。これ以外のCD-ROMで他に希望されるものがありましたら、その他のところにご記入下さい。

- a. Science Citation Index
- b. Social Science Citation Index
- c. Arts & Human Citation Index
- d. Biological Abstracts
- e. Biological Abstracts RRM
- f. INSPEC
- g. current contents
- h. Periodical Abstracts Res. II
- i. Periodical Abstracts Select
- j. Global Books in Print
- k. German Books in Print
- l. その他（具体名称をご記入下さい）

今後導入を希望するCD-ROMについての回答者数は、グラフ11に示すとおりである。SCIとcurrent contentsが48人で最も希望が多く、BAが34人と続いている。

グラフ11 導入を希望するCD-ROM



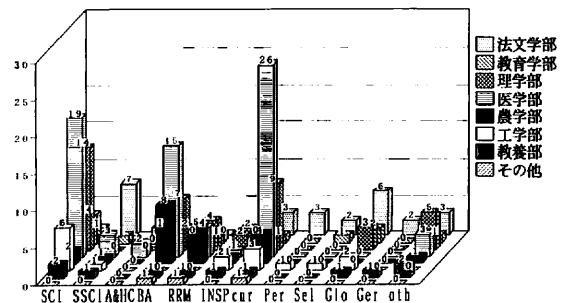
また、学部別にみたものをグラフ12、学問領域別にみたものをグラフ13、職名別にみたものをグラフ14、年齢層別にみたものをグラフ15にそれぞれ示す。学部別にみると、法文学部ではSSCIとGlobal Books in Printが希望が多く、理学部ではSCIとcurrent contents、BA、医学部ではcurrent contentsとSCI、BA、農学部ではBA、BA RRM、工学部ではSCIが希望が多い。

学問領域別にみると、自然科学系ではSCI、current contents、BAの希望が多く、人文・社会科学系ではSCI、Global Books in Printの希望が多い。

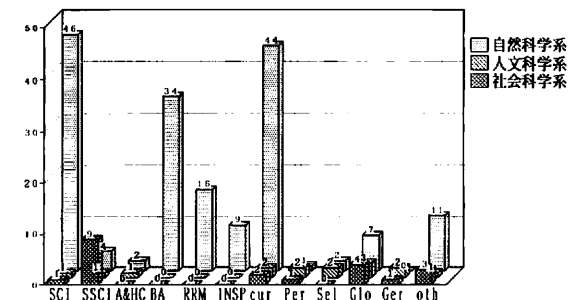
職名別にみると、教授ではcurrent contents、SCIを、助教授ではSCI、BA、current contentsを、助手ではcurrent contents、SCI、BAを、望む度合いが高い。

年齢層別にみると、30代ではSCI、current contentsを、40代ではcurrent contents、BA、SCIを、50代ではSCI、current contentsを、望む度合いが高い。

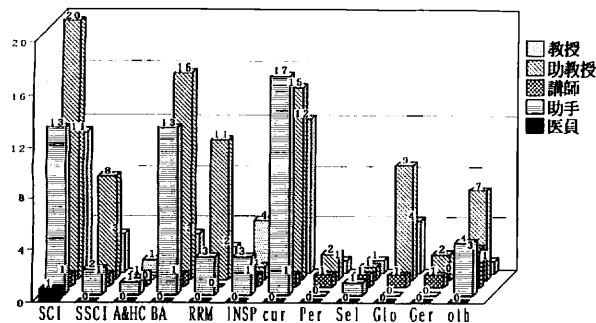
グラフ12 導入を希望するCD-ROM (学部別)



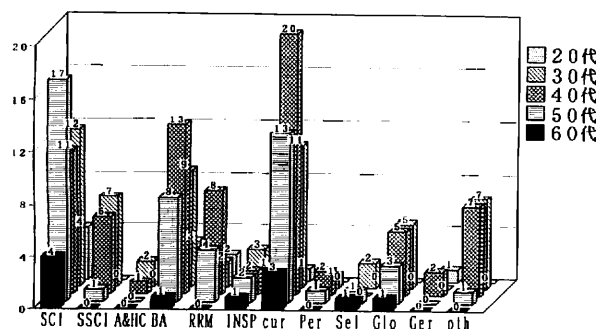
グラフ13 導入希望のCD-ROM (学問領域別)



グラフ14 導入を希望するCD-ROM(職名別)



グラフ15 導入を希望するCD-ROM(年齢層別)



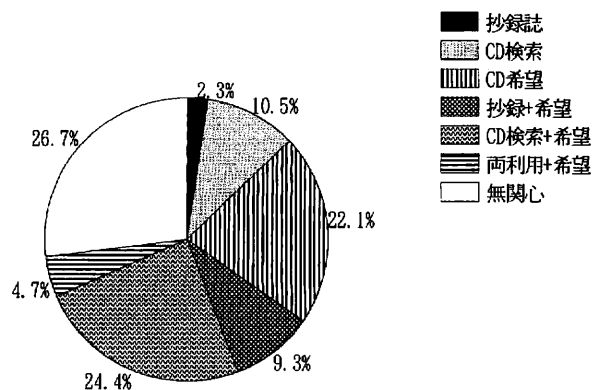
○今後導入してほしいCD-ROMについて、その他のところの具体名等には以下の回答があった。

- ・学内LANを利用してCD-ROMを操作できるシステムを整備してほしい。
- ・法律文献判例CD-ROM
- ・ERIC
- ・Macを端末としてOPACをつなげることが先決でしょう。
- ・World Database Series
- ・Compact Math CD-ROM
- ・日本で出版されている図書の総合目録CD-ROM
- ・Chemical Abstracts関係はありませんか。
- ・Chemical Citation Index
- ・Zoological Record
- ・統計学関連分野
- ・各種新聞記事が研究室からネットワークで直接検索できるようにしてほしい。

・インターネットの端末を用意して図書館からもアクセスできるようにしてほしい。

以上アンケートの各設問の回答に加え、アンケート設問5において、「オンライン情報検索サービスを利用していない」と答えた人について、他の検索サービス等の利用動向をみると、グラフ16のようになる。冊子体の抄録誌のみを利用している人が2.3%、CD-ROM検索のみを利用している人が10.5%、新たなCD-ROMの導入のみを希望している人が22.1%、冊子体の抄録誌を利用して、かつ新たなCD-ROMの導入を希望している人が9.3%、現在CD-ROM検索を利用して、さらに新たなCD-ROMの導入を希望している人が24.4%、現在冊子体の抄録誌とCD-ROMを利用して、さらに新たなCD-ROMの導入を希望している人が4.7%で、冊子体の抄録誌もCD-ROMも利用せず、新たなCD-ROMの導入にも関心がないと思われる人が26.7%となっている。

グラフ16 オンライン情報検索サービスを利用しない人の動向



今回のアンケート調査では回答を依頼する教官に対しての事前の周知期間があまりとれないまま行われたことで、回答者数が平成6年1月に行われたアンケート調査時よりやや少ない結果となったが、それでも今後の利用動向を推測するには足りうる回答が寄せられたと思われる。(回答をいただきました教官の皆様にはあらためてお礼申し上げます。)

## Dr. Shoyei Yamauchi からの寄贈図書

医学部分館長 平田 幸男

1994年9月20日付けで、ハワイ大学評議員のEdward M. Kuba氏より、琉球大学砂川学長宛に書簡があり、そこでは、Dr. Shoyei Yamauchi (以下山内氏) が、その所蔵する医学関係図書の琉球大学への寄贈を希望しておられる旨が伝えられ、寄贈予定の約半数の図書の目録を添えて、受け入れの諾否が問われていた。また、これまでも山内氏が、沖縄県の医学関係機関に対し2回(1965年沖縄県医師会、1979年県立中部病院)同様の医学関係図書の寄贈を行っており、それに続く今回の申し出が、氏の貴重な所蔵図書の最後に残ったものについてであることが記されている。

前回1979年の寄贈の際にも、山内氏は沖縄県に対し適当な医学医療機関への寄贈を希望されたらしいが、当時の県副知事比嘉氏から、斡旋の労をとったと思われるハワイの沖縄県人会会長 Zukemura 氏への書簡によれば、県は琉球大学医学部への受け入れを考えたいらしいが、当時は医学部開設にまだ数年かかると予測されたので、将来の教育関連病院と考えられていた中部病院への受け入れを提案したいらしい。なお、このとき寄贈を受け入れた中部病院では、その図書室の中の一室を「内山図書館」として、寄贈書を展示してあるとのことである。

このように幾度か沖縄県の医学関連施設に対し医学関係図書の寄贈を行ってこられた山内氏がどのような方であるのか、残念ながら資料が今の所入手できないので詳細は分からないが、県立中部病院の宮城副院長に伺ったところでは、氏は沖縄出身者の中でハワイで最初に医師に成られた方とのこと、現地で開業しておられ、同時にハワイ大学の教授をも務められたとのことであるが約30年ほど前に引退されたとのことである。寄贈図書ならびにこれと同梱されていたいくつかの資料により推測される所では、おそらくは外科系の医師で、風土病であるフィラリア症に深い関心があり、これに関連したリンパ

管系の形態学、生理学等の基礎医学そして臨床医学の広い領域に関心を持っておられるらしいし、リンパ系の学会にはつい近年(1990年頃)まで参会されていたようである。

山内氏が、どのようなお考えでこれまで寄贈を行ってこられたかを想っているとき、彼自身がタイプされたと思われる図書目録の中に、次の数行がメモのように挿入されているのを見つけた。(原文のまま。ただし明らかにミスタイプと考えられるものは直した。)

"These are my final gifts to the people of Okinawa, where I was born and nurtured in my early years. This is all I can do to help elevate the quality of medicine in the Ryukyu islands. It is my hope that those who came to me and I promised that I shall do my best within limits realize my limitations and carry on. My suggestions are two; namely develop a foundation so that physicians may go outside the home islands and learn from others widely and develop a sound library so that scholars from the past are fully utilized....."

さて、肝腎の図書の内容であるが、この目録を見たところ、主たるものとしては、氏が、メンバーであったらしい The Classics of Medical Library および The Classics of Surgery Library が貴重な医学関係および外科学関係の古典のおもに初版本を復刻印刷(ファクシミリ版)し、豪華な革装丁を行って会員に限定して配布したものが約30点ある。これに加え、特に彼の関心が深かったフィラリア症や、リンパ系の基礎医学、臨床医学にかんする書籍や資料が多い。

分館としては、目録の中に、下の例に見られるような、近代医学史のなかで大変重要な位置を占める業績が初版時の形で復刻されたものが多数有り、これらは上に引いた山内氏のメモの



最後の文にあるように、医学部のこれからの教育・研究に資するところが大きいと考えて、寄贈を受け入れることにした。

そして1995年2月に段ボール20箱分の図書その他の資料が届いた。これらのすべてについて、受け入れ、登録作業が済んでいるわけではないが、資料としての価値が高いものから順次登録し、現在まで約90件が、医学部分館で閲覧可能になっている。

最近では、インターネットをはじめ、さまざまなネットワークをとおして、またCD-ROMの形で供給される各種のデータベースを通じて極めて容易に手に入れられる大量の新しい情報について目が行ってしまい、それぞれの研究課題について、原典を繙きつつその源流を遡る機会が著しく少なくなっている。このような状況の中で、今回受け入れた資料によって近代医学の基礎となった優れた業績を元の形で読むことが出来るようになったことで、本学に於ける医学教育・研究の基盤が少しでも広がり深化することになれば幸いであり、山内氏の篤志に応えることにもなるであろう。

最後に、今回の寄贈図書の中から、その著者が近代医学の先駆者として特になじみの深いものの一部を挙げて、閲覧に誘いたい。

Sir William Osler (1892): *The Principles and Practice of Medicine*. 1st ed.

William Harvey (1628ラテン語/1653英語): *Exercitatio Anatomica de Motu Cordis et Sanguinis in Animalibus*. 1st ed.

Rudolf Virchow (1860): *Die Cellularpathologie* (English ed)

Edward Jenner (1798): *An Inquiry into the Causes and Effects of the Variolae Vaccinae*. 1st ed.

René Theophile Hyacinthe Laennec (1821): *De L'Auscultation Médiante*. (A Treatise on the Diseases of the Chest.) 1st English ed.

Thomas Willis (1681): *The Anatomy of the Brain and Nerves*. (1st English ed.)

Joseph Lister (1909): *The Collected Papers of Joseph Baron Lister*. Vol. 1 & 2. (1st ed.)

William Withering (1785): *An Account of the Foxglove, and Some of Its Medical Uses*. (1st ed.)

Harvey Cushing (1912): *The Pituitary Body and Its Disorders*. (1st ed.)

Thomas Addison (1855): *On the Constitutional and Local Effects of Disease of the Suprarenal Capsules*. (1st ed.)

Antonio Scarpa (1806): *Practical Observations on the Principal Disease of the Eyes* (1st English ed.)

John Hunter (1778): *The Natural History of the Human Teeth, together with A Practical Treatise on the Diseases of the Teeth*.

Nicolas Andry (1743): *Orthopaedia: Or, the Art of Correcting and Preventing Deformities in Children*. (1st English ed.)

William Hunter (1774): *The Anatomy of the Human Gravid Uterus Exhibited in Figures*. (1st ed.)

Henry Gray (1858): *Anatomy Descriptive and Surgical*. (1st ed.)

William Gowers (1886-1888): *A Manual of Diseases of the Nervous System*.

(ひらたゆきお：医学部教授)

## 1996年新規購読外国雑誌

誌名		購入学科
1 Academy of Management Review	Q	法文・経済・経営
2 Accounting Horizons	Q	法文・経済・経営
3 Accounting Organizations and Society	8N	法文・経済・経営
4 Advances in Consumer Research	A	法文・経済・経営
5 Annals of Statistics	Q	法文・経済・経営
6 Asian-Australian Journal of Animal Science	6N	農学・生物生産
7 Behavioral Ecology and Sociobiology	M	熱帯生物圏研究センター・瀬底実 験所
8 California Management Review	Q	法文・経済・経営
9 Columbia Journal of World Business	Q	法文・経済・経営
10 Computer Physics Communications		理学・物理
11 Computer Vision, Graphics and Image Processing	M	工学・電気電子
12 Consumer Reports	13N	法文・経済・経営
13 Deutsche Zeitschrift für Philosophie	6N	教育・教育学
14 Economics Letters	M	法文・経済・経済
15 European Urology	8N	医学・泌尿器科学
16 Fish Physiology and Biochemistry		熱帯生物圏研究センター・瀬底実 験所
17 Fish and Shellfish Immunology	Q	熱帯生物圏研究センター・瀬底実 験所
18 Forbes	27N	法文・経済・経営
19 Human Molecular Genetics	M	医学・小児科学
20 IEEE Transactions on Electrical Insulation	B-M	工学・電気電子
21 IEEE Transactions on Electromagnetic Compatibility		工学・電気電子
22 IEEE Transactions on Nuclear Science		工学・電気電子
23 IEEE Transactions on Plasma Science		工学・電気電子
24 Indian Sugar		農学・生産環境
25 International Journal of Sports Medicine	B-M	教育・保健体育
26 International Statistical Review	3N	法文・経済・経営
27 International Sugar Journal		農学・生産環境
28 The Japanese Economic Review	Q	法文・経済・経済
29 Journal of Accounting and Economics	6N	法文・経済・経営
30 Journal of Business Finance and Accounting	6N	法文・経済・経営
31 Journal of Business Strategy	6N	法文・経済・経営
32 Journal Consumer Research	Q	法文・経済・経営
33 Journal of Family History	Q	法文・人文・社会
34 Journal of General Management	Q	法文・経済・経営
35 Journal of Invertebrate Pathology		熱帯生物圏研究センター
36 Journal of Management	Q	法文・経済・経営
37 Journal of Management Studies	B-M	法文・経済・経営

38	Journal of Marketing Channels	Q	法文・経済・経営
39	Journal of Natural Products	M	理学・化学
40	Journal of Public Policy & Marketing	S-A	法文・経済・経営
41	Journal of Quality Technology	Q	法文・経済・経営
42	The Journal of Reprints for Antitrust law and Economics	3N	法文・経済・経営
43	Journal of Royal Statistical Society Ser.C (Applied Statistics)	4N	法文・経済・経営
44	Journal of Special Education Technology	Q	教育・特殊教育
45	Journal of Texture Studies		農学・生物生産
46	Machine Learning	Q	工学・情報工学
47	Management Accounting	M	法文・経済・経営
48	Management Science	Q	法文・経済・経営
49	Marketing Research	Q	法文・経済・経営
50	Nature Genetics	M	医学・小児科学
51	Neue Sammlung Vierteljahres-Zeitschrift fur Erziehung und Gesellschaft	4N	教育・教育学
52	Organizational Behavior and Human	M	法文・経済・経営
53	Padagogische Rundschau	6N	教育・教育学
54	Pattern Recognition	M	工学・情報工学
55	Philosophische Rundschau Eine Zeitschrift fur Philosophische Kritik	4N	教育・教育学
56	PHYTOCHEMISTRY	M	理学・化学
57	Quality Progress	M	法文・経済・経営
58	Review of Financial Studies	Q	法文・経済・経営
59	Skeletal Radiology	8N	医学・放射線医学
60	Sloan Management Review	Q	法文・経済・経営
61	Sport Medicine : International Journal of Applied Medicine and Science in Sport and Exercise	B-M	教育・保健体育
62	Sugar Cane	6N	農学・生産環境
63	Teaching Exceptional Children	Q	教育・特殊教育
64	Techniques in Urology	Q	医学・泌尿器科学
65	The technology Teacher	8N	教育・技術教育
66	Urologia Internationalis	8N	医学・泌尿器科学
67	Vierteljahrsschrift fur Wissenschaftliche Padagogik	4N	教育・教育学
68	Zeitschrift fur Padagogik	6N	教育・教育学
69	Zeitschrift fur Philosophische Forschung	4N	教育・教育学

## 1996年新規購読国内雑誌

1	Infection Control :The Japanese Journal of Infection Control	季刊	医学・看護学
2	MCON Report		法文・経済・経営
3	家族社会学研究	年刊	人文・社会
4	機械の研究	月刊	農学・生物生産
5	基礎心理学研究		教育・教育心理
6	月刊フイジーク	月刊	教養・保健体育
7	サッカークリニック	月刊	教育・保健体育
8	産婦人科の世界	月刊	医学・産科婦人科学
9	社会分析	年刊	法文・人文・社会
10	社会福祉研究	年4回	法文・人文・社会
11	進路指導研究		教育・教育心理
12	スポーツと健康	月刊	教育・保健体育／教養・保健 体育
13	青年心理学研究		教育・教育心理
14	ソーシャルワーク研究	年4回	法文・人文・社会
15	たのしい体育・スポーツ	月刊	教育・保健体育
16	地域福祉研究	年4回	法文・人文・社会
17	日本運動生理学雑誌	年4回	教育・保健体育
18	臨床婦人科産科	月刊	医学・産科婦人科学

## 1996年購読中止外国雑誌

1	Archiv Fur Sozialgeschichte		法文・法政・政治学
2	California Journal		法文・法政・政治学
3	Historische Zeitschrift		法文・法政・政治学／人文・ 史学
4	Jouranal of Air Law & Commerce		教育・社会
5	Journal of Clinical Investigation		教育・家政
6	Journal of Nutrition		教育・家政
7	Mutation Research Letters		医学・コアジャーナル
8	Occupational Health		医学・保健管理学
9	Oikos, Journal of Ecology		熱帯生物圏研究センター
10	Philippine Law Jouranal		法文・法政・法律
11	Photosynthetica		農学・農学
12	Plant Breeding Abstracts		農学・林学
13	Program/Proceedings :American Society of Clinical Oncology		医学・産科婦人科学
14	Public Health Reports		医学・保健管理学
15	Rehabilitation Psychology		教育・特殊教育
16	Revue Critique de Droit International Prive		法文・法政・法律
17	Revue de Droit International et de Droit Compare		法文・法政・法律
18	Strasse und Autobahn		工学・環境建設
19	Vierteljahrschrift Fuer Sozial und Wirtschaftschichte VSVVG		法文・人文・史学
20	William and Mary Quarterly		法文・経済・経済

1996年購読中止国内雑誌

1 NEW FOOD INDUSTRY	教育・家政
2 化学と教育	教育・理科
3 家庭科学	教育・家政
4 季刊理論経済学	法文・経済・経済
5 経済評論	法文・経済・経済
6 公衆衛生情報	医学・保健管理学
7 高分子論文集	理学・化学
8 産科と婦人科	医学・産科婦人科学
9 産婦人科治療	医学・産科婦人科学
10 繊維製品 消費科学	教育・家政
11 洗濯の科学	教育・家政
12 日本栄養・食糧学会誌	教育・家政
13 日本家政学会誌	教育・家政
14 日本社会精神医学会雑誌	医学・精神衛生学
15 日本食品科学工学会誌	教育・家政
16 舗装	工学・環境建設
17 臨床栄養	教育・家政
18 労働科学	医学・保健管理学

お知らせ

◎ 2月の試験期祝日開館について

平成8年2月12日(月)は建国記念日の振替休日ですが、試験期のため開館します。

開館時間 13:00~17:00

◎ 長期貸出について

長期貸出は平成8年2月20日(火)から開始します。

返却期限は平成8年4月10日(水)迄です。

◎ 春季休業について

平成8年2月22日(木)~平成8年3月31日(日)は春季休業で開館時間に変更があります。

中央館の開館時間は月曜日~金曜日 8:30~17:00

土曜日・日曜日 閉館

医学部分館は通常どおり夜間開館を行います。

月曜日~金曜日 8:30~21:00

土曜日・日曜日 13:00~17:00

◎ システム更新に伴うサービス縮小について

平成8年1月27日(土), 1月28日(日)は機種更新に伴う作業のため貸出業務は停止致します。

## 本学紀要類紹介：—シリーズ1— 法文学部

### 『琉大法学』

(Ryudai Law Review)

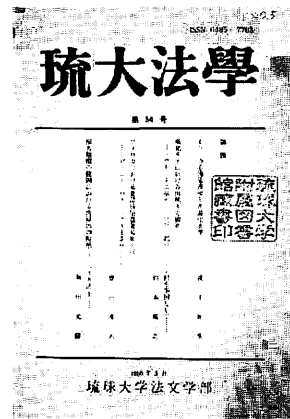
発行者：琉球大学法文学部（法政学科）

1958年6月創刊 A5判 年2回発行

ISSN 0485-7763

本誌は、琉球大学法文学部法政学科の研究機関誌であり、原則として毎年2回（3月と9月）刊行されている。創刊は1958年で、今年度末には第56号が発行される予定である。投稿資格は、原則的には法政学科所属教官および教養部の法学・政治学担当教官であるが、学科の了承を得て教育学部の教官が論文を掲載したり、また学外者が法政学科所属教官と共著の形で論文を発表した例もある。出版費用は、投稿資格を有する全教官の研究費をプールし均等負担としている。

創刊号から第56号まで掲載された論文の総数は296編で、主に公法・民事法・政策科学・国際関係論に関する研究業績が掲載されている。本誌は、日本語および英語の論文が中心となっているが、タイ語による論文が掲載されたこともある。各研究業績は、原則として論説・判例



研究・研究ノート・資料・書評の形で公表されている。本誌は、法学・政治学分野のまとまった論文を発表する場として重要な位置を占めている。

現在、本誌は毎号430部発行されている。また、本誌は発行後、国内および海外の大学・関係研究機関などに送付されているが、毎年紀要交換の要望が増えている。なお、定年退官の教官がいる年度には、退官記念号が特集される慣例になっており、これまでに4回発行されている。

最後に、本誌に掲載されている論文には、法学・政治学一般の研究とともに、沖縄に関する問題を扱った研究も少なくないため、国内・国外の沖縄研究者および沖縄に関心を有する人々にとって、有益な研究機関誌となっていることも指摘しておきたい。

（紀要委員：福島良一）

## 本学教官著作寄贈図書案内

1995年8月～1995年10月

宮良 信詳（法文学部）

南琉球・八重山石垣方言の文法／宮良信詳著  
東京 くろしお出版、1995.9 K885-MI

加藤 祐三（理学部）

沖縄でも地震は起きる／加藤祐三著 那覇  
ボーダーインク、1995.8 K453.2-KA

仲地 博（法文学部）

教材行政法／三好充、仲地博著 東京 法  
律文化社、1995.10 K323.9-MI

木村 政昭（理学部）

大地震期第三の予知：いま、知らねばならないこと／木村政昭著 東京 青春出版社、  
1995.9（プレイブックス） K453.3-KI  
噴火と地震の科学／木村政昭著 東京 論創  
社、1993.9 K453-KI

富永 斉（法文学部）

沖縄経済論／富永斉著 那覇 ひるぎ社  
1995.5 K332.1-TO

# 沖縄関係資料新着案内

1995年9月～1995年10月

## 1類 哲 学

1. やさしさと厳しさの構造：やぶにらみヤマト・うちなー論／上地安男著 那覇 [上地安男]、1993.2 K146-UE
2. 神ぬ歌／比嘉善子神歌 比嘉清徳解説 那覇 比嘉清徳、1995.7 (神歌集 1) K159-HI
3. 中国古典百の名言／豊平峰雲書 中国古典百の名言編集委員会編 西原町 (沖縄県) 郷土出版、1994.7 K159.8-TO

## 2類 歴 史

1. 芸能 1／沖縄県立図書館史料編集室編 [那覇] 沖縄県教育委員会、1995 (沖縄県史料：前近代8) K200.8-O52
2. '95夏沖縄50年目のレクイエム／比嘉豊光著 読谷村 (沖縄県) ゆめあーる、1995.7 K201.7-HI
3. 戦後沖縄の社会史：軍作業・戦果・大密貿易の時代／石原昌家著 那覇 ひるぎ社、1995.8 (おきな作文庫：74) K201.7-IS
4. 静かに過ぎ去る時とともに：碑は語る……今、沖縄戦をあなたに問う／中谷行雄著 東京 労働教育センター、1995.6 K201.7-NA
5. 太平洋戦争航空戦記 東京 秋田書店、1995.9 (歴史と旅臨時増刊号：76) K201.7-RE
6. 語りつぐ戦中・戦後：1・2／歴史教育者協議会編 東京 労働旬報社、1995.8 K210.7-RE
7. 東アジア地中海の道／国分直一著 東京 慶友社、1995.6 (考古民俗叢書) K220-KO
8. 玉城村富里誌／中山俊彦著 [玉城村 (沖縄県)] [中山俊彦]、1992.4 K234-NA
9. 八重山の歴史と民話／前花哲雄著 石垣 前花哲雄、1984.8 K251-MA
10. 白保村風土記：逸事・逸話の史実 第1集

- ／崎原久著 石垣 白保村風土記刊行会、1994.6 K251-SA
11. 奄美群島の近現代史：明治以降の奄美政策／西村富明著 大阪 海風社、1993.10 (南島叢書：68) K260-NI
12. 沖縄空手人名鑑 平成5年度版／沖縄県空手道連合会 [編] 那覇 沖縄県空手道連合会、1993.12 K280.3-OK
13. 比屋根安定：草分け時代の宗教史家／寺崎暹著 東京 リプロポート、1995.4 (シリーズ民間日本学者 / 鶴見俊輔 [ほか] 編集 41) K289.1-HI
14. ちんやんばるう：遙々たり沖縄、望郷の五十年／安富昇著 東京 MBC21、1995.7 K289.1-YA
15. 仲田精利先生の思い出／崎間敏勝編 那覇 [崎間敏勝]、1992.7 K289-NA
16. 県別道路地図：沖縄県 (破れない地図：観光・レジャー情報満載、主要交差点名入り、県内主要都市図) 東京 日地出版、(ルチエール：47) K290.38-NI
17. 日本の島事典／菅田正昭編著 東京 三交社、1995.6 K290.3-SU
18. 島の旅島の人／春名徹文 木内博写真 東京 世界文化社、1995.7 K291-HA

## 3類 社会科学

1. 日本文化研究：日中対照／中松竹雄指導 台北 東呉大学日本文化研究所中松研究室：鴻儒堂出版社 (発売)、1993.7 K302-NA
2. 沖縄県議会史 13／沖縄県議会事務局編 那覇 沖縄県議会、1995.7 K318.4-O52
3. 沖縄経済論／富永斉著 那覇 ひるぎ社、1995.5 (地域科学叢書：12) K332.1-TO
4. 教育戦後史開封：沖縄の教育運動を徹底検証する／福地曠昭著 那覇 閣文社、1995.6 K372-FU
5. 戦争と性：近代公娼制度・慰安所制度を

- めぐって／川田文子著 東京 明石書店、1995.4 K368.4-KA
6. 琉球の空の下で：沖縄の教育・文化の変遷とともに／上江洲朝和著 東京 M B C 7：東京経済（発売）、1995.8 K372.19-UE
7. 宮古島保良の土俗信仰／松川寛良著・編 浦添 松川寛良、1995.2 K382-MA
8. よみがえる戦前の沖縄：写真集／沖縄テレビ放送編 浦添 沖縄出版、1995.8 K382-OK
9. 舞踊節組歌詞集／野村流合同研究会 [編] [那覇] 野村流合同研究会、1985.1 K386.8-NO
10. 沖縄の艶笑譚（えんしょうたん） 続／青山洋二 [ほか] 著 南風原町（沖縄県）那覇出版社、1995.7（那覇出版文庫） K388-AO
11. 民間説話の研究：日本と世界：関敬吾博士米寿記念論文集／大林太良 [ほか] 編 京都 同朋舎出版、1987.8 K388-SE
- 4類 自然科学
1. 沖縄でも地震は起きる／加藤祐三著 那覇 ボーダーインク、1995.8 K453.2-KA
2. 大地震期第三の予知：いま、知らねばならないこと／木村政昭著 東京 青春出版社、1995.9（プレイブックス） K453.3-KI
3. 噴火と地震の科学／木村政昭著 東京 論創社、1993.9 K453-KI
4. 石垣島／白井祥平著 下関 新日本教育図書、1995.8 K462.199-SH
5. 沖縄の海の貝・陸の貝：生態／検索図鑑／久保弘文黒住耐二著 浦添 沖縄出版、1995.8 K481.7-KU
6. Fish watching guide 沖縄／増田一瀬能宏編 東京 海游舎、1993.7 K487.5-MA
7. ウイルスで読み解く「人類史」／根路銘国昭著 東京 徳間書店、1995.2 K491.77-NE
8. ウイルスが嗤っている：薬より効き眠くならないカゼの話／根路銘国昭著 東京 ベストセラーズ、1994.2（ワニの選書） K493.3-NE
- 5類 工 学
1. うみやからあ：海の勇者／宮城亀次郎著 那覇 エイトマン、1994.8 K507.9-MI
2. 沖縄海と人間：フォト・ドキュメント珊瑚礁からの警鐘／新田勝也写真・文 宜野湾 新田勝也、1992.3 K519.8-NI
3. おいしい沖縄料理／尚承高良菊著 東京 柴田書店、1995.7 K596.21-SH
4. おきなわの山野草料理と暮らし：季節を楽しむ／伊藝秀信伊藝敬子著 浦添 沖縄出版、1995.7 K596.3-IG
- 6類 産 業
1. キラマガツ：慶良間の鰹一本釣り／兼島秀光著 那覇 ボーダーインク、1995.9 K664.63-KA
- 7類 芸 術
1. アダンの画帖：田中一村伝／南日本新聞社編 東京 小学館、1995.4 K721.9-TA
2. 砂の剣／比嘉滙著 東京 小学館、1995.9 K726.1-HI
3. 水筒：ひめゆり学徒隊戦記 上・下／新里堅進著 東京 ゲン・クリエイティブ、1995.5 K726.1-SH
4. たからの実る雲の木／兼久博子文 弥生紫絵 那覇 琉球新報社、1991.8 K726-KA
5. 中日友好書法展／豊平峰雲編 周初枝翻訳 [那覇] [豊平峰雲]、1990.7 K728-TO
6. 絆：結成10周年記念写真集／沖縄写友会 [編] 北谷町（沖縄県） 沖縄写友会、1992.4 K748-OK
7. なんくるぐらし／照屋林賢、松村洋著 東京 筑摩書房、1995.6 K764.7-TE
8. 琉球棒術の秘技／村上勝美著 東京 愛隆堂、1995.3 K789.4-MU
9. 空手拳法：護身術秘伝／摩文仁賢和著：李清漢訳 台北 真善美出版社、1970.10 K789-MA



## 8 類 語 学

1. 琉球語の美しさ／仲宗根政善著 宜野湾  
ロマン書房本店, 1995.7 K800-NA
2. 日本語史の研究／中松竹雄編著 台北 東  
呉大学日本文化研究所中松研究室：鴻儒堂  
出版社（発売）, 1993.7 K850-NA
3. 与論島語辞典／山田實著 東京 おうふう,  
1995.5 K886-YA

## 9 類 文 学

1. 愛ポポロン／諸星詩織著 国分寺 新風舎,  
1995.3 K910-MO
2. 雨あがりの窓／諸星詩織著 国分寺 新風  
舎, 1995.3 K910-MO
3. 南島の抒情：琉歌／外間守善著 東京  
中央公論社, 1995.2 (中公文庫) K913-HO
4. 自作歌集ときわぎ：感謝をこめて／平田  
嗣永著 沖縄 平田嗣永, 1990.11  
K915-HI
5. 生を織る：米寿によせて／仲山忠英著  
石垣 仲山忠亨, 1993.8 K915-NA
6. 甘蔗の花：岡村トヨ歌集／岡村トヨ著  
那覇 沖縄時事出版, 1986.5 K915-OK
7. グッドバイ・詩：詩集／大城貞俊著 宜  
野湾 林芸出版, 1994.9 K917-OS
8. 憂鬱なる系譜：「沖縄・戦後詩史」増補  
／大城貞俊著 那覇 ZO企画, 1994.11  
K917-OS
9. 宮城信行戯曲評論集成：沖縄芝居・芸能  
の地平に起（た）つ／宮城信行著 西原町  
（沖縄県）宮城信行作品集刊行期成会,  
1995.9 K920-MI
10. 捕虜たちの島：嘉陽安男捕虜三部作／嘉  
陽安男著 那覇 沖縄タイムス社, 1995.7  
K930-KA
11. 海からぶたがやってきた！／下嶋哲朗作  
下嶋哲朗, 下嶋幸子絵 東京 くもん出版,  
1995.7 (おはなしノンフィクション：5)  
K930-SHI
12. 生贄の島：沖縄女生徒の記録／曾野綾子  
著 東京 文芸春秋, 1995.8 (文春文庫)  
K930-SO
13. 真珠と旧慣：宮古島人頭税と闘った男達  
上巻・下巻／富田祐行著 東京 近代文芸  
社, 1995.2 - 1995.3 K930-TO
14. 当世万華鏡／平敷静男著 西原町（沖縄  
県）平敷静男, 1992.8 K940-HE
15. 歩みきて：八十五歳の生まれ年を迎えて  
／宮城静著 那覇 [愛編集室],  
1991.12 K940-MI
16. 沖縄の心を綴る／名城博治郎著 東京 近  
代文芸社, 1995.6 K940-NA
17. 海草と貝を追って／瀬良垣寛著 那覇 瀬  
良垣寛, 1989.10 K940-SE
18. 言葉と形象の伏線／高良松一著 南風原町  
（沖縄県）グローバル企画印刷, 1995.2  
K940-TA
19. 沖縄戦：朝鮮人軍夫と従軍慰安婦：沖縄  
戦版画集／儀間比呂志著 大阪 清風堂書  
店, 1995.8 K950-GI
20. 「戦争と平和」子ども文学館／長崎源之助  
[ほか] 編 東京 日本図書センター,  
1995.2 K950-HI
21. 沖縄玉砕戦：ある中隊准尉の戦闘手記／  
石井耕一著 新潟 新潟日報事業社,  
1995.6 K950-IS
22. 碧い陽炎：沖縄の疎開児童たち／伊豆味  
正昌著 東京 朝文社, 1995.8 K950-IZ
23. あほうどりのちかくで：かあちゃんの尖  
閣列島遭難記／みやら雪朗著 東京 近代  
文芸社, 1995.7 K950-MI
24. 蝶の島：沖縄探蝶紀行／三木卓著 東京  
小学館, 1995.8 K950-MI  
(小学館ライブラリー：715)
25. 初年兵の沖縄戦記／仲本潤宏著 南風原町  
（沖縄県）那覇出版社, 1995.7  
(那覇出版文庫) K950-NA
26. 平和への道しるべ：白梅学徒看護隊の記  
録／白梅同窓会編 那覇 白梅同窓会,  
1995.6 K950-SH

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

**図書館事情**

◎第208回附属図書館運営委員会

日時：平成7年10月30日（月）  
15：10～17：10

場所：附属図書館会議室

協議事項

- (1) 部局図書委員会の設置について
- (2) CD-ROM検索サービスの今後のあり方について
- (3) 共同利用雑誌委員会委員の選出について

(4) その他

報告事項

- (1) 第42回国立大学図書館協議会総会について
- (2) 矢内原忠雄文庫南洋群島関係資料展について
- (3) その他

[人事異動]

氏名	異動内容	現官職	発令日
金城 守	情報サービス課参考調査係	情報管理課図書情報係	7.12.1
与儀 美津雄	情報サービス課資料サービス係	情報管理課雑誌情報係	
岡本 淳子	情報管理課雑誌情報係	情報サービス課資料サービス係	
上原 孝	情報管理課図書情報係	情報サービス課資料サービス係	
上原 恵子	情報サービス課資料サービス係	情報サービス課参考調査係	

**医学部分館だより**

◎第34回医学部分館運営委員会

日時：平成7年10月20日（金）  
16：30～16：50

議題：Mutation Research Letters（コアジャーナル）の見直しについて

審議の結果、平成8年度から購読を中止することとなった。



琉球大学附属図書館報“びぶりお”第29巻 第1号（通巻第109号）

平成8年1月発行

発行 琉球大学附属図書館 〒903-01 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

電話 098(895)2221 内線 (2143) 編集 びぶりお編集委員会